

大学の世界展開力強化事業 H26取組概要 千葉大学

【構想の名称】(選定年度23年度(タイプB-Ⅱ))

大陸間デザイン教育プログラム[CODE Program]

【プログラムの目的・養成する人材像】

- ①日本の未来を担う創造型産業(情報系製造業・コンテンツ産業)におけるデザインビジネスマインドを持つ人材の育成
 - ②学部3.5年(早期卒業)+修士1年(6ヵ月×2大学留学)+修士1.5年(研究)の6年間のサンドイッチ留学プログラム
 - ③米国+欧州+日本の3つの異なる期間でデザイン経営+デザイン振興+デザイン技術を学習
- 「デザインビジネスマインドをもった幹部人材」-日本企業のデザイン部門の幹部候補であり、ビジネスに貢献するデザインをグローバルに考えられるプロフェッショナル人材の育成

【構想の概要】

本構想は、米国+欧州+日本の3つの全く異なるデザイン教育プログラムを有する大学が協働し、世界に通用するグローバルなデザイナーを育成するものである。未来の日本を担う創造型産業、特にサービスやコンテンツのデザイン領域において将来活躍が期待できる人材を世界中からリクルートし、我が国の将来の産業を創成することが可能な人材を育成する。

■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組

○ 6つの質の保証

- ①学部入学時から留学を意識させ英語による専門教育を2年生より導入
- ②大学院実施の英語によるプロジェクトベースラーニングを学部2年生後期より導入
企業と連携したプロジェクトベースラーニングで実践的な教育を実施
- ③日本のデザインの現状を学ぶ特別授業を留学前と後に実施
日本デザイン振興会と連携し日本のデザインの独自性について理解を深める授業を実施
- ④留学直前にプレゼンテーション中心の英語授業を行いディスカッションに強い人材を育成
- ⑤卒業研究と修士研究を継続させ留学中も研究を継続実行
- ⑥留学終了時期にインターンシップを組み込み海外国内の両方を視野に入れたインターンシップを大学がフォローしながら実行

〈国際協働ワークショップ〉



■ 実施した交流プログラムの概要、今後の開始に向けた準備状況

(ワークショップのレポートとカリキュラム概要等)

○ 国際プログラムと連携カリキュラムの実施

国際プログラムを各年に実施 9月に開始して12月に成果発表会を行う
通常カリキュラム・特別カリキュラム・コンペティションカリキュラムなどを展開

○ 海外大学アライアンスプログラム(ワークショップ)9回実施(平成26年度)日本5回(5校)、海外4回(4校)

IoT/M2Mを活用したソーシャルイノベーション(連携カリキュラム)、パリ地下鉄における利用経験の向上、IoTを活用したウェアラブル機器の提案、未来の自動車利用の楽しみ方、次世代の写真とカメラの利用体験、金属加工の可能性を探る生活用品など

○ 留学授業準備の実施 英語によるデザイン演習 コミュニケーションスキル授業

パッケージデザイン、レストランサービスデザインなどの21の英語による演習を実施
ジャパニーズカルチャー、アート&メディアなどのコミュニケーションスキル授業実施

■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

○ 日本人学生の派遣

平成26年度パイロットプログラム 学部4年(大学院進学)4名(うち3名1 Semester×2機関)、大学院生4名(うち1名1 Semester×2機関)

留学推進のワークショップ実施 学部2年生2名、3年生12名、4年生1名、大学院生8名を海外でのワークショップに派遣

○ 外国人留学生の受入れ

平成26年度パイロットプログラム13名

留学推進のワークショップ実施 29名(米国、英国、イタリア、ポルトガル、フィンランド)を受入れ

	H23	H24	H25	H26	H27
学生の派遣	9	31	54	31	20
学生の受入	25	36	57	42	28

注)H23~H26は実績、H27は計画。

■ 日本人学生の派遣・留学生の受入を促進するための環境整備

派遣・受入に対する「ワンストップサービス」を国際ナショナルサポートデスクとアマヌエンシスが機能を分担しながら連携
日常生活と日本語・日本文化・ビジネス日本語 =国際ナショナルサポートデスク

専門教育や研究体制の支援とインターンシップや就職支援 =アマヌエンシス

国内宿泊・海外宿泊施設および学生渡航手続きに関する一括安全管理システムの構築し、危機管理に関する包括提携(OSSMA)を運用する

海外連携大学を拡大した 平成23年度追加1校(イタリア)、平成24年度追加3校(米国、ドイツ、ポルトガル)、平成25年度追加2校(フィンランド、フランス)、平成26年度追加1校(フランス)

■ 構想の実施に伴う大学の国際化の状況

情報の公開・成果の普及

○ 留学推進のための教育内容の可視化と成果普及のための広報実施

カリキュラムの構造を明記したパンフレットを作成 ワークショップに関する国際ナショナルレポートを作成
プログラムに関するホームページを作成し全てのカリキュラムのデータベース化 モバイル対応のホームページを構築

http://www.design-cu.jp/code_web/